



アーチェリー部 県総体で団体・個人V 九州大会、全国大会へ！

29日に行われた試合で、アーチェリー部が団体の部で優勝し、県大会3連覇を果たしました。また、個人の部においても、中袴田遊君(2年 串中出身)が優勝、吉留吾紳君(1年 串中出身)が2位という輝かしい成果をあげました。

今後は、6月の九州大会(北九州市)、8月の全国大会(大阪市)にコマを進め、さらにハイレベルな選手たちとの戦いに挑むこととなりますが、九州大会を前にして行われる、国民スポーツ大会の少年男子の代表枠をかけた予選会にも注目です。



6/1日(月)生徒総会

会の冒頭、私からも一言あいさつの場が与えられ、「ヒト、モノ、カネ」(ビジネス上の3つの基本的な経営資源)になぞらえて「生徒会はヒト、コト、カネ。『カネ』は限られた予算の中でやるしかない。でも、『コト』は君たちのアイデア次第だ。また、『ヒト』とは串高生全員のこと。執行部役員だけを指しているのではない。」と話しました。

本校の生徒総会は、左写真のように、発言者の位置が全校生徒に囲まれているというスタイル。発表の際には、けっこう緊張するのではないかと思います。決算、予算審議の後に行われた討議のテーマは「地域から愛されて自慢できる学校にするために」。いろいろな意見が出てきて感心しました。

生徒たちはテーマ解決のために、どんなことをしたらよいか分かっています。あとは、**どういうことから行動するのかということ**。まさに、「ヒト」と「コト」の真価が問われるのです！

6/3日(水) 本校卒業生が、中学生と串高生に向けてオンライン講演を行いました。

この講演会は、例年、いちき串木野市教委が企画しています。講師は、4月から鹿大工学部に通う男子学生と郵便局勤務の女性職員。それぞれが、高校生活のアドバイスや今後の抱負等を語りました。**二人はそろって、串高の魅力を「少人数であること」として、具体的には「徹底した個別指導、進路指導」「行事でそれぞれの役割を果たす充実感と絆が生まれること」を挙げました。**卒業後も充実した毎日を送っている様子。今後ますますの活躍が期待されます。先輩たちに続くぞ！



串木野高校頑張っています(文責 立森)